

グローバル化時代の現代美術

—“セタビ”のコレクションで楽しむ世界旅行

2階 国内作家

荒木経惟

ARAKI Nobuyoshi
1940年 [東京]—

28. 《花曲》

1997年
RPプリント
各65.0×105.0 cm (6点1組)

猪熊弦一郎

INOKUMA Genichiro
1902年 [香川]— 1993年 [東京]

29. 《グリーン ハイウェイ》

1967年
油彩、カンヴァス
177.8×203.0 cm

村井正誠

MURAI Masanari
1905年 [岐阜]— 1999年 [東京]

30. 《大覚寺》

1992年
油彩、カンヴァス
130.5×388.0 cm

堂本尚郎

DOMOTO Hisao
1928年 [京都]— 2013年 [東京]

31. 《Cosmos III》

1978年
アクリル、カンヴァス
150.0×450.0 cm

福田繁雄

FUKUDA Shigeo
1932年 [東京]— 2009年 [東京]

32. 《アンダーグラウンド・ピアノ》

1984年
ミクストメディア
183.2×219.5×256.0 cm

加納光於

KANO Mitsuo
1933年 [東京]—

33. 《旅と種子と I》

1983年
油彩、カンヴァス
193.8×260.7 cm

李 禹煥

LEE Ufan
1936年 [韓国、咸安]—

34. 《線より》

1980年
岩絵具、カンヴァス
218.5×290.5 cm

榎倉康二

ENOKURA Koji
1942年 [東京]— 1995年 [東京]

35. 《無題》

1977年
廃油、カンヴァス、木材
220.0×328.0 cm

大竹伸朗

OHTAKE Shinro
1955年 [東京]—

36. 《漁船窓 I》

1987-88年
油彩、オイルスティック、石膏、木、
カンヴァス
255.0×210.0×18.0 cm

中里 斉

NAKAZATO Hitoshi
1936年 [東京]—
2010年 [アメリカ、ニューヨーク]

37. 《ラ・マナグア・コンシーニャ》

1987年
油彩、アクリル、カンヴァス
左：213.0×490.0 cm
右(コンパニオン・ピース)：81.0×81.0 cm

飯田善國

IIDA Yoshikuni
1923年 [栃木]— 2006年 [長野]

38. 《作品 No.9》

1969年
ステンレススチール
70.0×70.4×47.5 cm

39. 《JUICHIMENTAI No.1》

1983年
ステンレス、鉛、ナイロンロープ
110.0×173.0×125.0 cm

川端 実

KAWABATA Minoru
1911年 [東京]— 2001年 [東京]

40. 《ゲイト・ブルーのイメージ》

1987年
アクリル、カンヴァス
213.0×167.5 cm

横尾忠則

YOKOO Tadanori
1936年 [兵庫]—

41. 《ロスのお土産》

1982年
油彩、アクリル、カンヴァス
245.0×290.0 cm

高橋 秀

TAKAHASHI Shu
1930年 [広島]—

42. 《禅、またはブラック・ホール》

1995年
アクリル、ステンレス、カンヴァス
270.0×360.0 cm

福岡道雄

FUKUOKA Michio
1936年 [大阪]—

43. 《唐津の海岸》

1982年
F.R.P
47.0×183.5×119.8 cm

辰野登恵子

TATSUNO Toeko
1950年 [長野]— 2014年 [東京]

44. 《May-25-91》

1991年
リトグラフ、紙
195.8×130.5 cm

柚木沙弥郎

YUNOKI Samiro
1922年 [東京]—

45. 《コンストラクション》

2011年
型染、綿
306.0×115.0 cm

川俣 正

KAWAMATA Tadashi
1953年 [北海道]—

46. 《「ピープルス・ガーデン」のためのプラン No.4》

1992年
ベニヤ板、パルサ材、鉛筆
81.0×122.0×12.0 cm

47. 《「ピープルス・ガーデン」のためのプラン No.8》

1992年
ベニヤ板、パルサ材、鉛筆
81.0×122.0×12.0 cm

48. 《ドクメンタ9 フォト・ドキュメント No.1-8 "People's Garden" Documenta IX, 1992》

1992年
ゼラチンシルバープリントほか
各45.0×65.0 cm



フランチェスコ・クレメンテ《二つの大地》1981年

Special Museum Collection Exhibit

Contemporary Art of the Globalization Era: A Delightful Trip around the World through the Setagaya Art Museum Collection.

2021.7.3 日 — 8.22 日

会場：世田谷美術館 1階&2階展示室

開館時間：午前10時—午後6時（入場は午後5時30分まで）

休館日：毎週月曜日（ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館）

*海の日の移動により7月19日（月）は休館。8月9日（月）は開館、10日（火）は休館。

観覧料：一般200円（160円）・大高生150円（120円）・65歳以上/中小生100円（80円）

*障害者の方は100円（80円）。ただし、小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者（当該障害者1名につき1名）は無料。

*（ ）内は20名以上の団体料金。*小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料。

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 Tel. 03-3415-6011（代表） <https://www.setagayaartmuseum.or.jp/> 展覧会のご案内：050-5541-8600（ハローダイヤル）

世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM

グローバル化時代の現代美術

Special Museum Collection Exhibit
Contemporary Art of the Globalization Era:
A Delightful Trip around the World through
the Setagaya Art Museum Collection.

—“セタビ”のコレクションで楽しむ世界旅行

この展覧会は、2020年夏の東京オリンピック／パラリンピックに併せて企画されましたが、新型コロナウイルスの感染拡大で順延となったもので、もともと当館のコレクションを紹介する目的でした。

「グローバル化時代」をキーワードにしたのは、国際的なイベントの開催時にふさわしい展示を意図したからですが、80年代半ばに開館した当館のコレクションとしては、ふだんあまり目にすることの少ない海外および日本の現代美術の作家たちの大型作品にしばった展示となりました。副題に謳ったように「コレクションで楽しむ世界旅行」という形容は、いささか大袈裟ですが、しかし、それぐらいの興味深い展示内容となっているのではないのでしょうか。

「グローバル化時代」となって、世界の現代美術の作家たちは、斬新な発想と冒険心に充ちた活動を地球規模で繰り広げました。そうしたなかにも、もちろん国際的な評価を獲得した日本の作家たちも含まれています。その意味で日本および世界の現代美術のさまざまな潮流を見て取ることも可能です。

そしてまた、この展覧会を介して創造的な文化・芸術を支える根本的な社会の仕組みが、本来、どうあるべきなのかを考えるきっかけにしてほしいと願っています。

酒井忠康・世田谷美術館館長

1階 国外作家

デイヴィッド・ナッシュ

David NASH
1945年 [イングランド、イェシャー]—

01. 《尖箱》

1984年
木
280.0×215.0×160.0 cm

02. 《船形》

1984年
木
244.5×274.5×133.0 cm

リチャード・ロング

Richard LONG
1945年 [イングランド、プリストル]—

03. 《無題》

1991年
ミシシッピ川の泥、紙
183.2×94.2 cm

アンソニー・グリーン

Anthony GREEN
1939年 [イングランド、ルートン]—

04. 《復活祭／ル・ランシー》

1981年
油彩、板 (ボード)
205.7×276.9 cm

デイヴィッド・ホックニー

David HOCKNEY
1937年 [イングランド、ブラッドフォード]—

05. 《大仏、奈良 1983年2月18日》

1983年
タイプCプリント、カラージュ
152.4×147.3 cm

スティーヴン・キャンベル

Steven CAMPBELL
1953年 [スコットランド、ラザーグレン]—
2007年 [スコットランド、スターリング]

06. 《ねずみ取り：動物園で飼育される動物たちの不能に基づく戯曲》

1986年
油彩、カンヴァス
247.6×246.4 cm

ジャン＝ミシェル・バスキア

Jean-Michel BASQUIAT
1960年 [アメリカ、ニューヨーク]—
1988年 [アメリカ、ニューヨーク]

07. 《SEE》

1985年
アクリル、油彩、ミクストメディア、カンヴァス
218.5×193.0 cm

ロバート・ラウシェンバーグ

Robert RAUSCHENBERG
1925年 [アメリカ、ポートアーサー]—
2008年 [アメリカ、キャプティヴァ]

08. 《回廊－R.O.C.I.日本》

1984年
アクリル、シルクスクリーン、布、板
246.8×371.5×36.0 cm

クロード・ヴィアラ

Claude VIALLAT
1936年 [フランス、ニーム]—

09. 《無題》

1988年
アクリル、テント布地
246.0×510.0 cm

ジェフ・ウォール

Jeff WALL
1946年 [カナダ、バンクーバー]—

10. 《Jell-O》

1995年
チバクローム・トランスペアレンシー、
ライトボックス
159.7×195.6×22.2 cm

ジュヌヴィエーヴ・カデュ

Geneviève CADIEUX
1955年 [カナダ、モントリオール]—

11. 《天－体》

1992年
タイプCプリント、プレキシガラス、
メタルフレーム
181.0×573.0 cm

ソル・ルウィット

Sol LEWITT
1928年 [アメリカ、ハートフォード]—
2007年 [アメリカ、ニューヨーク]

12. 《ピラミッド》

1986年
木に白い塗装
102.0×110.0×92.0 cm
ワタリウム美術館蔵(世田谷美術館寄託)

13. 《ダブル・ピラミッド》

1987年
木に白い塗装
大：201.5×97.0×85.0 cm
小：104.0×101.0×100.0 cm
ワタリウム美術館蔵(世田谷美術館寄託)

14. 《壁面構造 1-2-3-4-5-6》

1980年
木に白い塗装
173.0×87.5 cm
ワタリウム美術館蔵(世田谷美術館寄託)

15. 《フロアー構造 1-2-3-4-5-6》

1980年
木に白い塗装
21.5×155.0×117.0 cm
ワタリウム美術館蔵(世田谷美術館寄託)

16. 《フロアー構造 5-4-3-2-1》

1980年
木に白い塗装
59.0×159.0×73.0 cm
ワタリウム美術館蔵(世田谷美術館寄託)

リチャード・ディーコン

Richard DEACON
1949年 [ウェールズ、バンガー]—

17. 《涙》

1989年
アルミニウム
231.0×277.0×130.0 cm

ソカリ・ダグラス・キャンプ

Sokari DOUGLAS CAMP
1957年 [ナイジェリア、ブグマ]—

18. 《私の世界 あなたの世界》

1997年
鉄ほか
男：223.0×137.0×140.0 cm
女：223.0×74.0×75.0 cm
女：206.0×95.0×85.0 cm

ダニ・カラヴァン

Dani KARAVAN
1930年 [イスラエル、テルアビブ]—
2021年 [イスラエル、テルアビブ]

19. 《寛容の庭、イツァク・ラビンへのオマージュ》

2007年
ブロンズ、銅線、アクリル板
9.0×40.0×27.0 cm

20. 《平和都市エルサレム》

1975年
ブロンズ
5.0×33.0×33.0 cm

アンゼルム・キーファー

Anselm KIEFER
1945年 [ドイツ、ドナウエッシンゲン]—

21. 《東から西へ向かう波》

1987年
アクリル、フォトコラージュ、鉛、板
100.0×240.0 cm

A.R. ペンク

A.R. PENCK
1939年 [ドイツ、ドレスデン]—
2017年 [スイス、チューリッヒ]

22. 《TTT(RT)1》

1982年
アクリル、カンヴァス
199.8×300.0 cm

フランチェスコ・クレメンテ

Francesco CLEMENTE
1952年 [イタリア、ナポリ]—

23. 《二つの大地》

1981年
グアッシュ、紙、カンヴァス
245.3×248.5 cm

エンツォ・クッキ

Enzo CUCCHI
1949年 [イタリア、モッコ・ダルバ]—

24. 《月の旅》

1981年
油彩、レリーフ、カンヴァス
209.0×429.0 cm

ミンモ・パラディーノ

Mimmo PALADINO
1948年 [イタリア、パドゥーリ]—

25. 《無題》

1987年
油彩、木、エンコスティック、コラージュ、
合板
225.0×225.0×16.0 cm

サンドロ・キア

Sandro CHIA
1946年 [イタリア、フィレンツェ]—

26. 《ベルゴラ》

1986年
テンペラ、パステル、紙、カンヴァス
230.0×425.5 cm

蔡 國強

CAI Guo-Qiang
1957年 [中国、泉州]—

27. 《延長》

1994年
火薬、紙
236.0×1564.8 cm